

# 授業科目 地域看護学概論

【担当教員名】 宇田 優子、島貴 秀樹		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 地域で生活するあらゆるライフステージ、健康レベルの個人・家族・集団を対象に、ヘルスプロモーションの理念に基づいて行われている地域看護活動を理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 地域看護とは何かを考え、その特徴を理解する。 2. 地域看護の対象を理解する。 3. 地域で活動する看護職が地域の人々の健康を支援するために何処で何をどのように実践しているか説明する。 4. 地域看護活動を実践するために必要な理論を知る。 5. 地域看護活動を実践するための理論を活用する。 6. 地域看護活動の歴史から地域看護の方法と意義を知る。 7. 海外の地域看護活動を知る。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	地域看護学の目的と対象を考える。			1	講義
2	自分自身の生活と環境を関連づける。			1、2	講義・グループワーク
3	日本の地域看護の歴史と海外の地域看護活動を知る。			6、7	講義
4	地域看護活動の場の特徴と活動方法、役割を知る。(1) 1) 行政の場 2) 在宅の場 3) 産業の場 4) 学校の場 5) 施設の場			1～3	講義
5	地域看護活動の場の特徴と活動方法、役割を知る。(2)			1～3	グループワーク
6	地域看護活動の場の特徴と活動方法、役割を知る。(3)			1～3	グループワーク
7	発表			1～3	発表
8	ヘルスプロモーションの概念と地域看護の活動方法の関連を学ぶ。			4、5	講義
9	個人と集団の健康を増進するための理論を知る。			4、5	講義
10	集団の健康を評価する理論と地域看護活動計画立案の概要を知る。			4、5	講義
11	集団の健康を評価し、健康を増進するための戦略を立案する。(1) ポピュレーション戦略とハイリスク者戦略			4、5	グループワーク
12	集団の健康を評価し、健康を増進するための戦略を立案する。(2)			4、5	グループワーク
13	集団の健康を評価し、健康を増進するための戦略を立案する。(3)			4、5	グループワーク
14	集団の健康を評価し、健康を増進するための戦略を立案する。(4)			4、5	グループワーク
15	発表とまとめ * 講義計画は変更することがあります。			1～5	発表
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		三訂 地域看護学	津村智恵子 編著	中央法規	2009・3,570円
		新版 保健師業務要覧 第2版		日本看護協会出版	2008・5,040円
		国民衛生の動向 2011/2012		厚生統計協会	2011・2,400円・夏に販売されるものを購入
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 試験あるいは課題レポート80% 出欠席と授業参加状況20%			【履修上の留意点】 授業中にテストを実施する場合がある。 主体的に考え・発言し、グループワークでは積極的な参加を望む。		